



↑ロック調の曲で楽しそうに演技する児童ら

人 伊唐小がミュージカルを上演 人間模様ときずなを表現

バレイショ栽培導入のルーツとブリ養殖による家族のきずなを焦点にした「伊唐ミュージカル」が11月26日、伊唐小学校（春木寛治校長・児童数11人）で上演されました。同校は平成16年度から学習発表会でミュージカル形式による発表を取り入れています。

今年は、児童たちがこれまでに書いた作文を基に、春木校長が脚本。オリジナルの11曲中9曲を中村剛教諭が作曲し、2曲を鷹巣駐在所の牧尾貴洋巡査が担当して、児童と教職員らが演じました。第1部のバレイショ編は、伊唐で初めて青果用を栽培した島民とそれを支えた青果業者らの人間模様を表現しました。第2部のブリ養殖編では、モジャコ漁や出荷、赤潮との闘いなど、仕事から生まれる家族のきずなを描きました。

会場には、ミュージカルを観覧しようと島内外から約200人が詰め掛け、子どもたちの演技に心を打たれていたようです。

↓全員そろって手話に取り組んだ2年1組



長島中学校文化祭

手話を交えた劇と合唱を発表

長島中学校（大堂洋校長・生徒数108人）は11月11日、同校体育館で文化祭を開催。2年1組の29人が手話を交えた劇と合唱を発表しました。

劇は担任の川原武敏教諭が、聴導犬の紹介や聴覚障害者が事故に遭ったときの対応などを台本に仕立てました。鹿児島聾学校や出水地区聴覚障害者協会の協力を得て、10月下旬から放課後に練習を重ねた生徒たちは、助け合う大切さを伝えようと精一杯手話に取り組んできました。

大 あづまマンダリン旗争奪少年剣道大会 崎が大会2連覇達成

第14回あづまマンダリン旗争奪少年剣道大会が11月12日、長島町総合市民体育館で開催されました。小学生の部に40チーム、中学生男子の部に36チーム、中学生女子の部に11チームが参加。小学生の部では、白熱した試合を制した大崎が2連覇を達成しました。

大会の結果は次のとおりです。

- ◇小学生の部 優勝 大崎
- ◇中学生男子の部 優勝 重富
- ◇中学生女子の部 優勝 松元



↑会場の体育館は選手や応援者でいっぱいになりました